

## 【活動報告】 建築現場レポート

### ～ 倉庫新築工事の地鎮祭 ～

2020年8月7日、仮称千葉市中央区問屋町倉庫新築工事（施主：中央商事㈱、監修：シーアールイー、設計：クラ建築デザイン、施工：エンバイオ・エンジニアリング）において、地鎮祭が執り行われました。この日は、この夏一番の猛暑となり、熱中症などに気を使いながらの地鎮祭となりました。

地鎮祭は、施主の中央商事㈱の代表取締役様他3名、㈱シーアールイーの取締役副社長様他3名、クラ建築デザインの所長様、そして㈱エンバイオ・エンジニアリング草場代表取締役他3名が参加しました。役進行役は営業部の樋口さんが務めました。

この日は、朝から気温が上がり、32度を超える夏日となりました。風もさほどなく、地鎮祭をするにはいい日和でしたが、熱中症に気を使い、水分を補給しながらの地鎮祭となりました。

地鎮祭は、式次第に基づいて、修祓から始まり、厳かな感じの中、滞りなく進められました。地鎮の儀の中の鍬入れの儀は施主の中央商事㈱の社長が、穿ち初めの儀ではエンバイオ・エンジニアリングの社長が行いました。

地鎮祭の鍬入れは、手の入っていない土地に手を加えることを神様の前で行い、家を建てる許しを得るための意味があります。穿ち初めは、鋤などにより、地を穿つ（掘る）所作をおこない、神様に工事の開始を奉告するという意味があります。社長の草場さんの話では、盛砂が念入りに締め固められており、鋤を盛砂に十分に突き刺すことができなかったとのことでした。笑えますね。

地鎮祭が終わるといよいよ着工です。地鎮祭の後には、施工検討会が実施され、施工上の、そして安全上の点検や協議を行いました。この工事が無事に竣工できるよう、関係者が一丸となって取り組んでいきます。ご安全に！



地鎮の儀のうち、鍬入れの儀の様子



地鎮の儀のうち、穿ち初めの儀の様子



神酒拝戴後の祝辞



集合写真（コロナ下での、息を止めての撮影でした）